

令和7年度

甲府一高進路だより

冬休み直前号（令和7年12月23日）

社会の「今」を進路のヒントに

2025年もあと数日となりました。年末になると今年を振り返る話題が多くみられますね。今年の新語・流行語大賞は、高市総理の「働いて働いて働いて働いて働いて働いてまいります。」に決定し、今年の漢字は「熊」となりました。こうした社会の動きの中で、令和の米騒動という言葉が飛び交うほど、食卓の話題にもなった今年の米価高騰は、身近な生活と経済の変動が密接にかかわっていることを改めて示しました。そして2025年は、終戦から戦後80年という大きな節目の年でもありました。国際的にはトランプ大統領の相互関税政策や未だ解決が見えないウクライナ・ガザの紛争など世界平和と経済の在り方が激しく揺れ動く一年となりました。

このような国内外の課題は、皆さん一人一人の進路選択と無関係ではありません。皆さんがこれから選ぶ「学び」や「仕事」は、未来の社会を形作る大きな力となります。この一年で感じた社会課題を原動力に、それを解決する人材となるために、どのような進路を選ぶべきか、年々年初に改めてじっくり考えてみてください。



〈3年生の皆さんへ〉

～ みんなで頑張る、自分を信じる ～

大学入学共通テストまであと1ヶ月。皆さんも痛感していると思いますが、大一番の勝負の前に「平常心を保つ」、「余計な雑念、不安を持たない」ということは難しいですが、とても重要なことです。もちろん

様々な不安はあります。周りの人たち、さらには全国の受験生がみな自分よりできるように思われ、「本当に自分の力が通用するのだろうか。」などと根拠のない漠然とした不安にとらわれたり、判定、合格可能性の数値ばかりが気になって仕方ないとか、考え始めると夜も眠れなかったりということもあるかもしれません。受験生は皆、同じ思いを抱えています。だからこそ、クラス、さらには3学年全員がお互いを労わり、励ましあいながら、前向きに前進していくべきです。その醸し出す雰囲気、一人一人の努力を何倍もの力に変え、学年全体の大きな推進力になります。進路実現という目標は、決して独りでたどり着くものではありません。

ここからは、ものごとに対して常にクール＆ポジティブに考えていきましょう。今までの成績がどのようなものであれ、これまでの成績で大学の合否が決定されるわけではありません。その意味では、試験を受ける前のこの段階ではすべての人が同じスタートラインにいるわけで、「勝負は本番で何点取れるか」のみにかかっています。大逆転も可能です。余計な雑念、心配は振り

払って、とにかく本番で目標に近い点数を取ることのみに意識を集中していくべきです。「大丈夫だろうか。」ではなく「大丈夫にするんだ！」の意識で努力を積み重ねていってください。その努力に自信を持ち、恐れることなく、また慌てることなく、一つ一つ着実に進んでいきましょう。特に試験本番では、この「落ち着き」、一種の「居直り」ともいえる太い神経で対することが肝要。また、それと同時に大切な姿勢は、直前まで、最後の最後まで粘るということです。試験前日にやったこと、30分前に開いた参考書で確認したことがそのまま出たということはよくある話です。国公立大後期試験まで頑張り抜いて最後の最後で第一志望の合格を勝ち取るという例も毎年見られることです。共通テストまでまだ1ヶ月。まだまだ力は伸びてきます。本気でやればかなりのことができる時間です。焦らず、慌てず、今までやってきたことをそのまま続ける。毎日課題にしてきたことを最後までやり抜くというかたちで、自分のペースを維持し、日常生活のリズムを刻んでください。

3学年みんなで頑張る！ここまで頑張ってきた自分を信じる！

〈1,2年生の皆さんへ〉

～努力するってどういうこと？～

2年生の皆さん、先日の研修旅行では楽しい思い出がたくさんできたと思います。高校生活もあっという間に1年半が過ぎていきます。高校生活も振り返っていますね。部活動、学園祭、探究活動とさまざまな行事を経験し、個人的にはつらいことや苦しいこともあったと思いますが、少しずつ強くなって自分なりに解決していく力を身につけてきたのではないのでしょうか。

1年生の皆さん、入学から数ヶ月が経ち、高校生活のリズムにも慣れてきたでしょうか。日々の学習内容から部活動、来年度の文理選択に至るまで、自身の選択と行動が大きく未来を左右し始めます。それは、自由であると同時に少し戸惑いやプレッシャーを感じる瞬間かもしれません。今日の前にある課題や活動に皆さんはどのように向き合っていますか？

さて、サブタイトルにした「努力」という言葉。ある講演会で聞いた話の中に、「努力」は2種類あるらしいのです。「人から強いられて受動的にする努力」と「その行為の意義と必要性を理解して自分から能動的にする努力」だそうです。例えば、学習に対して、あまり気乗りがしないけれど親や先生が勉強しろというから仕方なくやっている、周りが受験勉強始めたから自分も始めてみるのは前者であり、どうしてもこの大学に行く必要があるから厳しいけれどもへこたれずにやり抜いてみせるというのは後者でしょうか。自分の人生だからこそ、自分にとって必要だと思うこと、やりたいと思う情熱を力の源にして、困難や試練を前にしても、それを乗り越えることを楽しむような強い意志をもって、自分の決めた道をどこまでも突き進む。それが「努力」なんだと話を聴いて改めて確信しました。先の見えにくい世の中だからこそ、他者に流されることなく、しっかり物事を考え自分で判断し、自分で行動するという姿勢を貫きたいですね。

